



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 常和ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3258 URL http://www.jowa-hd.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小崎 哲資
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役兼専務執行役員 (氏名)山本 正登 (TEL)03(3243)1913
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,517	△9.7	3,201	△5.7	2,089	△4.9	1,176	△54.2
23年3月期第3四半期	10,543	△2.0	3,394	△14.7	2,196	△17.2	2,567	66.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 893百万円(△66.5%) 23年3月期第3四半期 2,668百万円(—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	109.84	—
23年3月期第3四半期	239.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	155,586	17,882	11.5
23年3月期	136,038	17,632	13.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 17,882百万円 23年3月期 17,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
24年3月期	—	30.00	—		
24年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△3.3	4,300	2.5	2,600	2.5	1,500	△44.5	140.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 2社(社名)常和不動産株式会社、常和ビル開発株式会社

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	10,707,000株	23年3月期	10,707,000株
24年3月期3Q	87株	23年3月期	73株
24年3月期3Q	10,706,917株	23年3月期3Q	10,706,986株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいた分析・判断によるものであり、実際の業績につきましては、経営環境の変化等により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、当第3四半期決算短信開示後すみやかに、当第3四半期連結決算の概要についての補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日、以下「当第3四半期」という。)の我が国経済は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みの後、生産活動・消費活動の持ち直しなど、一部で回復の兆しも見られるものの、電力供給不安や欧州域内各国など海外経済の悪化懸念や急激な円高の進行など、引き続き不安定な状況のままで推移しました。

オフィスビルマーケットにおきましては、空室率がほぼ大底圏に入り、賃料水準の下落幅も縮小傾向にありましたが、企業業績の低下懸念により、需要は弱含みで推移することが予想され、当面、改善は期待しにくい状況が続くものと認識しております。

ホテル業界におきましては、東日本大震災の影響を受け、ビジネス、観光ともに需要が一時的に減少いたしました。足許では、客室稼働率が回復してきているものの、本格的な市況回復には、なお時間を要するものと思われまます。

ゴルフ場業界におきましては、東日本大震災の影響を受け、来場者数が一時的に減少いたしました。足許では、緩やかに回復してきているものの、本格的な回復には、なお時間を要するものと思われまます。

以上のような事業環境の中、不動産事業、ホテル事業、ゴルフ事業を柱とする当社グループは、持株会社を中心とした透明性が高く、効率的経営が可能な事業体制の下、安定した経営基盤を構築すべく、お客さまをはじめステークホルダーの皆さまの視点に立った事業推進を行い、お客さまニーズへの対応とコスト削減により、ベース収益の嵩上げに注力してまいりました。

当第3四半期の連結業績につきましては、売上高9,517百万円(前年同四半期10,543百万円 前年同四半期比9.7%減)となり、営業利益は3,201百万円(前年同四半期3,394百万円 前年同四半期比5.7%減)、経常利益は2,089百万円(前年同四半期2,196百万円 前年同四半期比4.9%減)を計上し、四半期純利益は1,176百万円(前年同四半期2,567百万円 前年同四半期比54.2%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

平成23年10月1日付の当社グループ子会社再編(主要3事業ごとに1社の子会社を置く体制への集約)を踏まえ、当社グループの事業戦略に則り、一層適切かつ有用な情報を提供するために、報告セグメントを変更しており、当第3四半期と前年同四半期との比較・分析は、今次変更の影響を含めて記載しております。

①不動産事業

当第3四半期は、前期に実施した物件売却による賃料の剥落、一部テナントの賃料低下、前期の宅地売却の剥落等により、売上高5,980百万円(前年同四半期7,030百万円 前年同四半期比14.9%減)となり、コスト削減等に努めるも、営業利益3,099百万円(前年同四半期3,360百万円 前年同四半期比7.8%減)となりました。

②ホテル事業

当第3四半期は、東日本大震災の影響を受け、事業環境が厳しい中、売上高は3,114百万円(前年同四半期3,119百万円 前年同四半期比0.1%減)となったものの、前年同四半期のホテルユニゾ渋谷の新規開業費用の剥落やコスト削減により、営業利益は857百万円(前年同四半期678百万円 前年同四半期比26.3%増)となりました。

③ゴルフ事業

当第3四半期は、東日本大震災の影響により、来場者数が減少し、売上高は528百万円(前年同四半期571百万円 前年同四半期比7.5%減)となったものの、コスト削減等により、営業利益は76百万円(前年同四半期71百万円 前年同四半期比6.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産合計は、155,586百万円となり、前期末比19,548百万円の増加となりました。これは、オフィスビル取得等により有形固定資産が前期末比22,285百万円増加、投資有価証券の取得等により投資その他の資産が前期末比241百万円増加、現金及び預金が前期末比2,875百万円減少したこと等によるものです。

当第3四半期末の負債合計は、137,703百万円となり、前期末比19,297百万円の増加となりました。なお、当第3四半期末の借入金残高は前期末比19,299百万円増加いたしました。

当第3四半期末の純資産合計は、17,882百万円となり、前期末比250百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が533百万円増加、その他有価証券評価差額金が282百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(平成24年3月期の業績見通し)

通期の連結業績見通しは、平成23年5月10日公表のとおりで、変更はございません。

なお、期末配当は、既公表の利益配分に関する基本方針に基づき、1株当たり30円を計画しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社ならびにグループ各社は、平成23年10月1日付で以下のとおりのグループ内再編を実施いたしました。

1. 再編の目的

平成23年4月実施の当社組織再編で、当社に事業別の本部を設置したことに合わせ、事業ごとに子会社を集約することにより、各事業の推進体制をさらに強化するとともに、経営管理を一層効率化し、当社と事業別子会社との緊密な連携のもと、権限・責任の明確化ならびにグループの経営判断の迅速化を図り、一層の収益、企業価値の向上を目指す。

2. 再編の概要

事業子会社の合併

	合併対象会社	新商号
不動産事業	常和建物(株) (存続会社) 常和アセットマネジメント(株)、常和不動産(株) 常和ビル開発(株)	常和不動産(株)
ホテル事業	常和ホテルマネジメント(株) (存続会社) 常和ホテルズ(株)	常和ホテル(株)
ゴルフ事業	常和ゴルフ(株) (存続会社) 常和ゴルフマネジメント(株)	常和ゴルフマネジメント(株)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,039,207	2,163,377
受取手形及び売掛金	2,356,859	544,640
商品及び製品	2,192	1,787
販売用不動産	758,329	2,304,239
原材料及び貯蔵品	4,327	6,578
繰延税金資産	129,188	51,603
その他	203,186	446,517
貸倒引当金	△298	△311
流動資産合計	8,492,992	5,518,432
固定資産		
有形固定資産		
信託建物及び信託構築物(純額)	27,710,603	33,196,258
土地	5,191,894	5,167,962
コース勘定	1,489,299	1,489,299
信託土地	73,993,667	90,973,958
その他(純額)	1,639,375	1,483,278
有形固定資産合計	110,024,841	132,310,758
無形固定資産	4,091,688	4,086,946
投資その他の資産		
投資有価証券	12,560,508	12,940,941
繰延税金資産	10,905	11,056
その他	888,753	733,717
貸倒引当金	△31,600	△15,600
投資その他の資産合計	13,428,566	13,670,115
固定資産合計	127,545,096	150,067,820
資産合計	136,038,088	155,586,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,392	1,695
短期借入金	15,100,000	21,550,000
1年内返済予定の長期借入金	12,699,800	36,278,392
未払法人税等	918,276	128,597
賞与引当金	63,334	30,836
ポイント引当金	9,208	9,208
本社移転損失引当金	—	47,801
その他	1,820,088	1,340,543
流動負債合計	30,612,100	59,387,074
固定負債		
長期借入金	78,223,000	67,493,828
受入敷金保証金	7,209,330	8,781,656
繰延税金負債	1,229,541	884,988
退職給付引当金	694,656	703,149
役員退職慰労引当金	236,010	296,073
その他	201,213	156,592
固定負債合計	87,793,751	78,316,287
負債合計	118,405,852	137,703,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,350,828	3,350,828
資本剰余金	3,266,234	3,266,234
利益剰余金	9,939,892	10,473,507
自己株式	△84	△101
株主資本合計	16,556,871	17,090,468
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	1,075,365	792,422
その他の包括利益累計額合計	1,075,365	792,422
純資産合計	17,632,236	17,882,890
負債純資産合計	136,038,088	155,586,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,543,883	9,517,923
売上原価	5,926,419	4,861,503
売上総利益	4,617,464	4,656,420
販売費及び一般管理費		
販売手数料	7,002	7,726
広告宣伝費	15,889	23,935
役員報酬	247,786	291,310
給料及び手当	373,431	426,428
賞与引当金繰入額	10,670	22,072
退職給付費用	22,999	28,582
役員退職慰労引当金繰入額	58,048	80,281
その他	487,283	575,009
販売費及び一般管理費合計	1,223,112	1,455,346
営業利益	3,394,351	3,201,074
営業外収益		
受取利息	1,736	705
受取配当金	216,216	209,828
その他	55,630	40,632
営業外収益合計	273,583	251,166
営業外費用		
支払利息	1,460,309	1,331,815
その他	10,651	30,732
営業外費用合計	1,470,961	1,362,548
経常利益	2,196,974	2,089,692
特別利益		
固定資産売却益	2,250,119	29,303
特別利益合計	2,250,119	29,303
特別損失		
固定資産除却損	2,062	6,041
投資有価証券評価損	—	40,320
本社移転損失引当金繰入額	—	47,801
特別損失合計	2,062	94,162
税金等調整前四半期純利益	4,445,031	2,024,833
法人税、住民税及び事業税	1,249,996	843,880
法人税等調整額	627,527	4,922
法人税等合計	1,877,524	848,803
少数株主損益調整前四半期純利益	2,567,507	1,176,030
少数株主利益	—	—
四半期純利益	2,567,507	1,176,030

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,567,507	1,176,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58,984	△282,942
繰延ヘッジ損益	41,698	—
その他の包括利益合計	100,682	△282,942
四半期包括利益	2,668,189	893,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,668,189	893,087
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	オフィス ビル事業	ホテル 事業	ゴルフ 事業	住宅 事業	エクイ ティ投 資事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	5,706,066	3,024,395	570,711	1,138,712	103,996	10,543,883	—	10,543,883	—	10,543,883
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	173,016	3,246	703	—	—	176,966	99,924	276,891	△276,891	—
計	5,879,083	3,027,642	571,414	1,138,712	103,996	10,720,850	99,924	10,820,774	△276,891	10,543,883
セグメント 利益	3,142,569	587,373	71,502	205,620	103,649	4,110,717	22,856	4,133,573	△739,222	3,394,351

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループファイナンス業務(貸金業)を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△739,222千円には、セグメント間取引消去59,089千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△798,311千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	ゴルフ事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,881,310	3,110,940	525,673	9,517,923	—	9,517,923	—	9,517,923
セグメント間 の内部 売上高又は振替高	98,979	3,683	2,992	105,656	—	105,656	△105,656	—
計	5,980,289	3,114,623	528,665	9,623,579	—	9,623,579	△105,656	9,517,923
セグメント 利益	3,099,614	857,536	76,071	4,033,222	—	4,033,222	△832,148	3,201,074

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額△832,148千円には、セグメント間取引消去173,447千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,005,595千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、第1四半期連結会計期間より変更しております。当社は平成23年4月に当社内の組織再編で当社に事業別の本部を設置し、執行役員制度を導入しました。さらに平成23年10月1日付をもって子会社再編を行い、事業毎に子会社を集約しました。

これは、各事業の推進体制をさらに強化するとともに、経営管理を一層効率化し、当社と事業別子会社との緊密な連携のもと、権限・責任の明確化並びにグループの経営判断の一層の迅速化をはかり、一層の収益、企業価値の向上を目指すものであります。

これを踏まえ、当社グループの報告セグメントにつきまして、「不動産事業」「ホテル事業」「ゴルフ事業」の3つのセグメントに集約するもので、主な変更点は以下のとおりです。

従来の「オフィスビル事業」（オフィスビル等の賃貸、運営及び不動産仲介等）を「不動産事業」といたしました。「不動産事業」は、上記オフィスビル事業の他、「住宅の賃貸、管理、仲介及び宅地分譲等」も包含するものとし、従来の「住宅事業」も含むように変更しております。

また、従来の「エクイティ投資事業」のうち、オフィスビルファンドへのエクイティ投資による運用分は「不動産事業」に、ホテルファンドへのエクイティ投資による運用分は「ホテル事業」に含めて表示するように変更しております。

前第3四半期連結累計期間につきまして、今次変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	ゴルフ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,857,169	3,116,002	570,711	10,543,883	—	10,543,883	—	10,543,883
セグメント間の内部 売上高又は振替高	173,016	3,246	703	176,966	99,924	276,891	△276,891	—
計	7,030,186	3,119,249	571,414	10,720,850	99,924	10,820,774	△276,891	10,543,883
セグメント利益	3,360,513	678,700	71,502	4,110,717	22,856	4,133,573	△739,222	3,394,351

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループファイナンス業務（貸金業）を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△739,222千円には、セグメント間取引消去59,089千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△798,311千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。